

経営比較分析表

岩手県 一関市

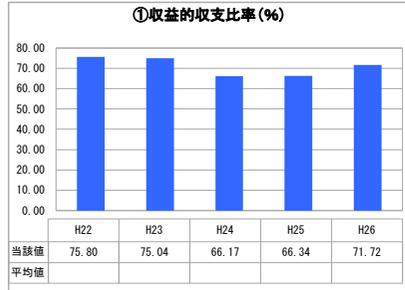
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	4.39	97.36	3,240

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
124,344	1,256.42	98.97
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
5,417	2.51	2,158.17

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成26年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



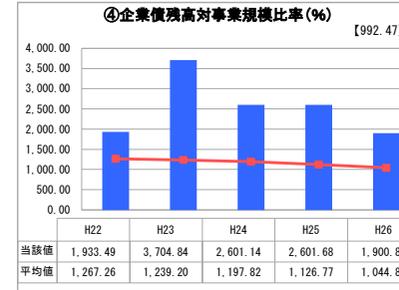
「単年度の収支」



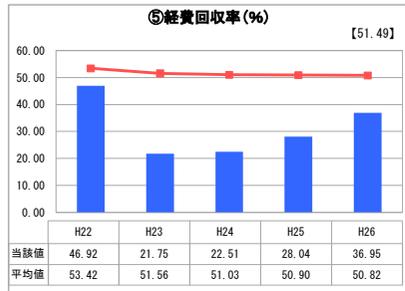
「累積欠損」



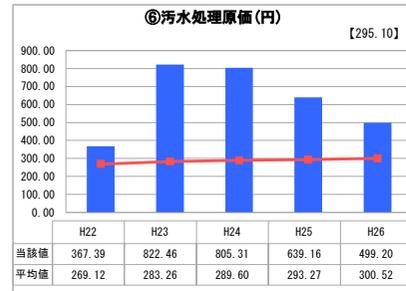
「支払能力」



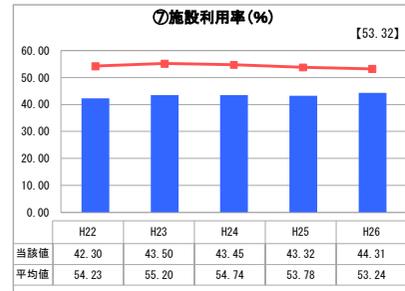
「債務残高」



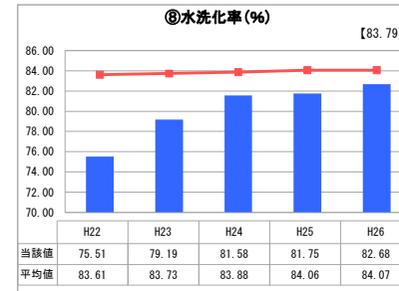
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

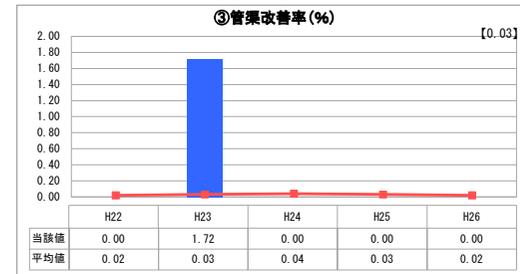
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析概

1. 経営の健全性・効率性について

水洗化率は緩やかに上昇しているものの、区域内人口の減少や節水指向の高まりから使用料収入の伸びは低調となっています。
初期施設の整備完了から10年超が経過し、区域内人口や流入水量の減少により施設利用率も低調であるとともに、修繕費用の増加と合わせて、過大となっている施設管理費が汚水処理原価を押し上げている状況にあります。

2. 老朽化の状況について

平成23年度は東日本大震災による災害復旧において管渠更新を行ったところです。
処理施設の機器、管渠の更新については、平成26年度に策定した最適化整備構想に基づき取り組みます。

全体総括

現状では水洗化率が100%となったとしても、経費回収率が100%を超えない状況です。
また、今後の施設更新を想定した場合、施設の統廃合などによる合理化とあわせ、使用料の見直しについても検討が必要です。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。